

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま		
○保護者評価実施期間	R7年1月25日		R7年1月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業員評価実施期間	R7年1月25日		R7年1月29日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	認定こども園の中にある事業所として、職員間での子ども(利用者)の情報の共有・共通理解が深められる。	職員がクラスでの様子を見に行ったり、サポートできるように認定こども園の職員と連絡し合っている。	認定こども園・事業所のインクルーシブを目指し、職員の交換研修やインクルーシブの研修・見学に取り組んでいる。
2	事業所の利用が無い日でも、毎日子ども(利用者)の様子、保護者の様子が見られ、会話ができる。	利用が無い日でも園内での子どもの様子が見られたり、登降園の際に保護者の方と会話をしている。	クラスでの子ども達の様子を捉え、職員の話し合いを密にすると共に、保護者と情報共有を計っていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への説明や見学をより丁寧に対応する必要があると思われる。	日頃、職員と保護者は登降園の際に会話できているが、事業所として保護者同士の顔合わせ・交流の機会はなかった。コロナ禍から自粛していた保護者会を1月に行い、保護者同士の交流も重要と考える。	1年に1度の保護者会だけでなく、情報共有や家族の研修の機会が作れるよう検討していく。
2			
3			